



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

R I テーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

クラブテーマ

心はひとつ One for all, all for one

「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」

2021-2022

第 10 回例会

会 報 No. 1158 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：齊藤伸明、副会長：平野正博、幹事：水谷朱美、出席・会報委員長：坂牧博美

令和 3 年 10 月 27 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA

担当：SAA

ロータリーソング「それでこそロータリー」/「四つのテスト」：長本 康孝 さん

ゲスト

国際ロータリー第 2760 地区防災対策委員会 委員 佐藤 裕彦 氏（豊橋 RC 所属）
渡津自動車工業株式会社 Honda Cars 豊橋西 代表取締役 大林 英晶 氏

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	10月6日修正出席率	ビジター
52名	46名	6名	12名	73.91%	71.74%	0名

会長挨拶

齊藤 伸明 会長

豊橋警察より防犯カメラの画像を提供してほしいと電話があった。最近色々な所に防犯カメラが設置されている。日本でも防犯カメラによる顔認証システムが活用可能な状態で カメラに写った不特定多数の人物と自動的に照合する仕組みになっている。プライバシー侵害の恐れがあり、欧米では監視社会防止の流れにあるが日本では法的制限がないので考える必要があると思う。

本日のプログラム

『 天災は忘れたころに来る 』

渡邊 茂 SAA 本日は豊橋 RC の佐藤裕彦さんに卓話をお願いしております。佐藤さんは地区出向の経験が豊富で、本年度はクラブ幹事の傍ら、地区防災対策委員会へ出向されております。また、三河市民オペラ制作副委員長を始め、地域でも活躍されております。



国際ロータリー第 2760 地区防災対策委員会 委員

佐藤 裕彦 氏（豊橋 RC） 近年、大きな自然災害が起きています。その中から地震にスポットをあてて防災対策のお話をします。1995 年阪神淡路大震災の際には、当時アメリカにいたのですが、このニュースを目の当たりにした時の衝撃は今でも忘れられないものです。2017-2018 年度に愛知県との地域防災向上の相互協力の締結に基づいて、毎年準備をし、今年度、愛知県 84 のクラブをくまなく卓話で回ります。その後、地震発生メカニズムの動画を見て頂きたいと思っております。地球は 15 枚のプレートで成り立っており、このプレートの中で起こる「ひずみ」で地震が発生しているというデータがあります。日本は



4つのプレートの上にたっており、地震は起こるべくして起こっているという事です。これが「地震大国日本」と言われる所以です。現代の日本が経験したことの無い地震が南海トラフという事でした。私たちの愛知県にも 5メートルを超える津波が押し寄せるかも知れません。30年以内に80%の確率で起こると言われる地震は、明日来てもおかしくはなく、大地震は必ず起こるという事を認識し、災害が起こる前に「災害が起こったとき」の場面を想定して一人ひとりが防災対策をいかにするか、事前に用意・確認・対策をする事が大事であり、地震発生の際には、まず自分の命を守る。そして最初に行動する、声をあげることが出来る人になる。委員会としては、家具の固定、ハザードマップの活用、食料、飲料水の確保をし、171 伝言ダイヤルの共有を提案し、私たちロータリー会員は BCP に取組み、正しく恐れて、しっかり行動しましょう。

佐藤氏の卓話の後には渡邊 SAA より、各家庭には洪水と防災のハザードマップが配布されているので活用して頂きたいというお話を頂くとともに、自身の地域のハザードマップを頂きました。今後の対策に活かして欲しいとの事でした。

5分間スピーチ

川原 元則 さん

（「ふるさと」の曲を流しながら登壇）

東日本大震災の復興支援で訪れた気仙沼の皆さんにお世話になり、色々な事を学びました。長年に渡る交流の中で、「いつも側にいるように寄り添ってくれてありがとう」という感謝の手紙とともに笑顔が忘れられない出会いが、豊橋東 RC に入って良かったことであり、これからも伝えて行きたいです。



原稿：佐原 太郎 さん／写真：鈴木 健嗣 さん